



フレンズの総会を開催

活動の充実を目指して

4月7日 文化の家 光のホールで

文化の家フレンズの2012年度総会が4月7日土曜日、文化の家光のホールで開催されました。

文化の家川上館長からごあいさつを頂いた後、議事に入って2011年度のフレンズ活動報告と会計報告がなされ、出席者全員の承認が得られました。

続いて長久手市制施行を記念

する企画を含んだ2012年度の活動計画案と予算案が提案され、これも出席者全員の承認で可決されました。

新年度の役員紹介(別掲参照)に

続いて、長久手市市制施行記念式典で、フレンズの長年にわたる活動に対し、長久手市から感謝状を頂いたことが披露されました。

さらに文化の家加藤事務局長から職員の紹介があり、新年度のスタートが切られました。

総会後のアトラクション

軽快な音楽と

楽しいトークを満喫

総会後のアトラクションは愛知県立芸術大学で作曲を専攻し、現在は文化の家創造スタッフを務める山田亮さんによるミニコンサートが開かれました。

はじめにジャズ「テイク・ファイ

総会であいさつをする
水野美々子フレンズ会長

ブ」が電子ピアノで演奏され

総会のアトラクションで
演奏する山田亮さん



特徴のある5拍子のリズムが会場に広がりました。

続いてアイルランド民謡をもとにした「ダニーボーイ」、ジョージ・ガーシュインのオペラの中で歌われる子守唄「サマータイム」、カーペンターズのヒット曲「トップオブザワールド」と、演奏と楽しい話に会場は和やかなムードに包まれました。

後半は「春の小川」、デューク・エリントンの「A列車で行こう」が演奏され、アンコール曲「さくら」でコンサートを終了しました。

なじみの曲が多く演奏され、会場の皆さんもジャズを身近に感じて、週末のひとつきを楽しまれたようでした。

2012年度フレンズ役員

会長	水野美々子
副会長	福岡八重子(研修部長)
副会長	阪上由美子(事業部長)
会計	浅田 悠紀
事務局長	山口 節子
	鈴木多恵子(当日運営部長)
	岩瀬 信廣(機関紙部長)
	牧野 洋子(マニュアル部長)
監査	瀬川 典子
	山崎 沙知(文化の家職員)

フレンズのつどいPart. 27

魅惑のフラメンコ 情熱の世界へようこそ

2012年8月5日(日)

午後5時開演(午後4時30分開場)

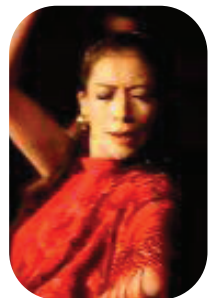
長久手市文化の家 森のホール

入場料: 指定席 3,500円

自由席 3,000円

(フレンズ会員は本人のみ500円割引)

出演: 中尾貴子 ヒラソル舞踊団 ほか



新職員の紹介

4月の長久手市役所の人事異動で、長久手市文化の家に3名の職員が配属され、2名の方が他へ換わられました。この方々を紹介させていただきます。

粕谷梨江さん(写真・右)
文化の家事業係に配属の粕谷梨江さん。

粕谷さんは、以前に文化の家管理係にいて、フレンドズの窓口を担当していただいていた。育休あけで職場復帰され、このほど事業係に配属されました。

育休前と同じ文化の家に帰ったといっても今回は事業係を担当、前の担当ではあまり関わらなかった専門分野です。「事業を企画し、プロデューズするなどの仕事が自分の手でできれば最高です。また、そうした事業を担当する中で、フレンドズの皆さんをはじめ、文化の家を利用される多くの人とつながっていただけ嬉しいです」と、期待と緊張がいっぱいの胸の内を語ります。

山崎沙知さん(写真・左)
文化の家管理係に配属されフレンドズの窓口を担当される山崎沙知さん。

文化や芸術への関心はとお尋ねすると「絵が趣味です」との答えが返ってきました。それもそのはず、大学で絵画を学び、版画を専攻されていたとのこと。「役場の仕事に就いて、絵画などからしばらく遠のいていたのが、文化の家に配属されたことで、そうした分野に触れる機会に恵まれ嬉しい」といわれます。

絵画をはじめ美術全般にかかわる事柄も、文化の家にとっては大切な分野。そうしたところで山崎さんの学んでき

写真・右は粕谷、中・野田、左・山崎の皆さんです



たものが活かされることを期待します。

野田悠子さん(写真・中)

事業係に配属の野田悠子さん。今春大学を卒業されて長久手市に新規採用されたフレッシュユさんです。

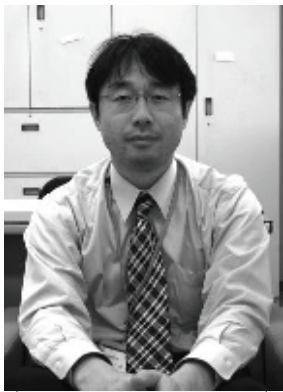
長久手市へは一般行政職として採用されたのですが、大学で音楽教育を専攻されていたとかで「自分の専門性をのせる部門に配属されて希望どおり」と顔をほころばせます。

「長久手市文化の家は、文化ホールとして進んだ事例を多くもったところと聞いています。そこで仕事ができるなんてとても幸せです。新人ゆえに戸惑ったが、気付かない点があるかと思えますが、よろしくお願いします」と言葉をつがれました。

お一人がほかへ異動されました 長い間のおつき合いに感謝

4年間、文化の家管理係で勤務された近藤一英さん。4月の異動で図書館へ換わられました。

「私は一期一会という言葉を大切にし



図書館へ異動された近藤一英さん

人と人のふれあいを大切にしてきました。文化の家でフレンドズの窓口を担当し、多くの皆さんとお会いできてよかったと思っています」と語り、図書館へ異動したが、そのふれあいを途切らせないよう「フレンドズの皆さんといっしょに活動したくてフレンドズスタッフに登録しました」といわれます。

長い間おつき合いいただいたうえに、今後はフレンドズスタッフとしてともに活動できることになりました。よろしくお祈りします。



保健センターへ異動された青山名保子さん

青山名保子さんは保健センターへ異動されました。文化の家には産休をはさんで長い間勤務されましたが「ホールでお客さんをお迎えするとき、心が浮き立って期待感が胸に広がったこと。公演が終わってお帰りになるお客さんの充実感が手に取るように感じられたこと。そういう機会に立ち会える事業についてことは、自分にとって幸せで貴重な経験でした」といわれます。

明るくさわやかな笑顔で文化の家で活躍された青山さん。長い間ありがとうございました。

二人のマエストロ（その2）

先回の山田和樹さんに続き、文化の家に関わったマエストロをご紹介します。

■ 佐渡裕さん

（昨年5月ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会デビュー）

2006年4月に佐渡裕さん率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団（PAC）の公演を行いました。現在「題名のない音楽会」でホスト役を務めており、昨年5月にベルリンフィルを振った様子は、多くのメディアで取り上げられ、今もとても人気のある指揮者といえるのではないかと思います。

佐渡さんは、阪神淡路大震災復興のシンボルとして2005年秋にオープンした兵庫芸術文化センターの音楽監督に就任し、その半年後長久手にやってきました。

師匠のバーンスタイン譲りの情熱溢れるタクトが佐渡さんの真骨頂ですが、せっかくの貴重な機会なので、コンサート以外に、地元中学・高校のバンド指導、公開リハーサル（トーク付き）、メンバーによるガレリアコンサート、サイン会、これらを1日でやってほしい、と少々無茶なオフアールをしたとこ



大熱演のあとのマエストロ

り広げ「芸術は、お弁当のウイナーをタコさんにするところから始まると思う」と、自らマイクを持ってお客さんに交わり、会場は佐渡さんの人柄でほのぼのとした空気に包まれました。

その後もガレリアコンサートでメンバーの演奏を見守る佐渡さんの姿が…。

「時間が許すかぎり、いくらでもやりますよ！」と快諾をしてくださいます。公演日、佐渡さんは初対面の私に「まあ、生田さん！いち早くこのオケを呼んでいただいてうれしいです。今日はいよいよお願いします」と気さくに握手をしてくださいました。それは、まるで旧知の友人のような穏やかさでした。

バンド指導では、曲の繰り返しの中で「カレーは二杯目のほうが、うまいやろ。そういう演奏にしたいよなあ」と学生たちの心を開いていきました。指導は次第に熱を帯び、気がつけば予定の時間をオーバー。休む間もなく、公開リハーサルに突入。満席の会場をみて「本番を2回やるみたいやな…」と嬉しそう。オーケストラが休憩に入っても、佐渡さんは一人でトークを繰

本番のコンサートは大熱演で、佐渡さんは土砂降りの雨に打たれたあとのように汗でずぶ濡れの状態でした。終演後私を見るなり「ありがとう！素晴らしい！ほんまに気持ちがあえわ！」と手を握りました。「お疲れでないですか」と訊ねると「今から打ちっぱなしに行きたいくらいや」とゴルフのスイングを出しました。サイン会のあと「ほんまにええお客さんやっただ」としみじみ言って、文化の家をあとにされました。佐渡さんと接して思ったことは、世界一流のアーティストの方々に通じた「柔らかさ」でした。それは、懐の深



中・高生バンド指導のようす（指揮台から降りている！）

文化の家 事業係 生田 創

さであり、まっすぐに人を見る目です。相手の人の心が開いていると感じると、自分が自分でいられる安心感に包まれます。それはきつと幾多の苦勞を乗り越えた人だけができることであり、つまり100人も音楽家の心を引き寄せるカリスマ性なのだと思えました。

長久手市 市制施行記念 **coba produced**

みんなでつくる長久手大音楽会

— つくろう! 唄おう! 長久手応援ソング! —

青春のときを長久手で過ごしたcobaが出演

7月14日(土) ファミリー・ライブ

14:30開場 15:00開演

前売り フレンズ 2,000円 一般 2,500円

中学生以下 1,500円

当日 フレンズ・一般 3,000円 中学生以下 2,000円

全自由席 3歳以下入場不可

7月15日(日) cobaオリジナル・ライブ

14:30開場 15:00開演

前売り フレンズ 3,500円 一般 4,000円

中学生以下 2,000円

当日 フレンズ・一般 4,500円 中学生以下 2,500円

全指定席 未就学児入場不可

長久手市文化の家 森のホール

IRISH DAYS アイリッシュ・デイズ2012

—音楽のあるくらし—

- 6月9日(土) アイルランド家庭料理講座(受付終了)
- 10日(日) ガレリアコンサート、ミュージックワークショップ ほか
- 7月7日(土) 写真展 トーク&フォト アイルランド田舎生活ほか

パット・オコナー&オーイン・オサリヴァン LIVE

(フィドル) (アコーディオン、フルート)

7月7日(土) 18:30開演 森のホール

前売り フレンズ1,800円 一般2,000円 学生1,500円

当日 フレンズ・一般2,500円 学生2,000円

Quartett カルテットの魅力は一生モノ!

出演: QuartettATOM クアルテット・アトム

(フレンズのつどいに出演いただいたメンバーです)

ナビゲーター: 山田亮(作曲家/文化の家創造スタッフ)

昨年度 好評の「カルテットの魅力は一生モノ!」シリーズ。今年度は弦楽四重奏の演奏で実績を築いているQuartettATOMを迎え、山田亮さんの親しみやすい解説を交えて弦楽四重奏の魅力を、サロンのような雰囲気の中で楽しく気軽に聴きます。

- 第1回 6月7日(木) 20:00 開演
ハイドン: 弦楽四重奏曲 二長調 作品50-6「蛙」
 - 第2回 8月30日(木) 20:00 開演
ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第11番へ短調 作品95「セリオソ」
 - ★ 第3回 11月28日(水)・第4回 2013年3月6日(水) と続きます
- 【入場料】 4回通し券 3,000円 1回券 1,000円

編集者コラム

桜吹雪の名古屋を出て山陰へと向かう。車窓からは、さくら、サクラ、桜。公園に、社寺に、土手に、里山に、深山にも。染井吉野、大島桜、八重桜、枝垂れ桜に山桜。

感嘆の声を上げ続けて6時間余り。伯耆富士(大山)の桜はまだ蕾だった。

(ま)

JAZZ IN THE ROOM

① 気軽にジャズコンサート「童謡もジャズになる!」

6月6日(水) 20:00 開演

音楽室(定員50名)

出演: Donny Schwegendiek Trio

② 楽しくJAZZ夏!「親子でスウィング!」

(長久手子ども劇場Vol. 3)

7月25日(水) 17:00 開演

風のホール(定員200名)

出演: 小林美千代(サクソ) 倉田大輔(ドラム)ほか

③ 10月10日(水) ④ 12月19日(水) と続きますが、完売の回もありますから、文化の家へお問い合わせください。

【入場料】 各回1,000円(全自由席)

楽しくJAZZ夏!「親子でスウィング!」(7月25日)のみ 4歳~中学生は500円

ふたたび 出合いを求めて

長久手在住 山田 高司

ほっとすぺーす

3年ほど前になりますが、この欄に「出合いを求めて出合いに感謝」というタイトルで、半世紀に近い自分の人生の中の数え切れないほどの出合いをふりかえり、そこから得られる家族愛、友情、人々との絆、喜びなどを書かせていただきました。

ところがその小文が掲載されて約一年後、自分の人生を一変させる大きな交通事故に遭遇してしまいました。事故直後の危機的な状態を脱し、長いリハビリ・療養生活を経たのち、下半身まひの障害が残り、以前のすべてが順調に過ぎていた生活の中では想像もしなかった、車イス生活になることになりました。自分は今よりも大きな転換です。

でも、3年前にこの欄で書かせていただいた「出合いを求めて出合いに感謝」の気持ちは少しも揺らいではいけません。むしろ事故をきっかけに、人々の出合いを大切に、人々との絆を大切にしたいという気持ちはいっそう深まり、ハンデイのある方々のお気持ちを、前とは比べようもないくらい理解できるようになりました。また、いま社会全体に求められているバリアフリーについて、自分の認識も進んだと思います。

いま私は、長久手市中央図書館に勤務し車イスで仕事についています。その中で以前から生活のいろいろな場面で貰ってきた『笑顔であいさつ』『最良の接遇』の実践をこころがけ、そして自分の信条である『出合いに感謝』を忘れずに、皆さんに接していこうと日々努めています。